

全建発第26～161号
平成26年 9月 5日

一般社団法人 全日本建設技術協会

会長 松田 芳夫

印省略

第608回建設技術講習会（道路行政の課題、港湾・漁港行政の課題）開催について

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

本会は国土交通省、農林水産省、地方公共団体、機構・公社等に勤務する建設関係職員約6万2千名をもって構成され、建設技術関係者の技術水準及び社会的地位の向上を図り、建設関係施策の円滑な推進及び良質な社会資本整備に資することにより、社会の発展と公共の福祉の向上に寄与することを目的とした一般社団法人であります。

私ども公共事業に携わる建設技術者は、災害に強い国土・地域づくり、入札契約制度改革と公共工事の品質確保、社会資本の維持管理、工事積算における動向と工事施工における合理化、安全対策など、多くの課題に取り組みながらこれらの要請に応えていく必要があります。技術力や企画・立案、説明力、交渉力など多様な資質の一層の向上が求められています。

本会の建設技術講習会は、公共事業に係る諸課題解決や実務の習得、最新技術情報の収集等業務に直接役立つ内容となっております。このたびの第608回建設技術講習会では、道路行政、港湾・漁港行政に共通する課題として、環境の保全・景観形成、交通ネットワークの効率化等について学ぶとともに、道路については、最近の道路行政施策や道路の防災・震災対策、道路交通安全対策、道路の維持管理・更新、道路ネットワークの有効活用など、港湾・漁港については、最近の港湾・漁港行政施策や港湾施設における防災・震災対策、港湾行政における環境対策、国際競争力の強化、港湾施設の維持管理技術などについての具体の取り組み事例や最新の施策及び最新の技術情報を得ることを目的としています。本講習は、公共事業の効率的かつ円滑な執行に寄与するとともに、職員の技術力等の向上に資するものと考えております。

以上の趣旨を御理解のうえ、本講習会を研修の場として活用され、貴職職員が多数参加されますよう、特段の御配慮をお願い申し上げます。

謹白

全建発第25～257号

平成26年 1月22日

一般社団法人 全日本建設技術協会
研修委員長 田村 秀夫
(国土交通省大臣官房技術調査課長) 印省略

平成26年度建設技術講習会の活用について

謹啓 時下ご清祥のこととお慶び申し上げます。

わが国においては、地震、津波、水害・土砂災害等の自然災害による被害が近年多発しており、南海トラフ地震、首都直下地震への対応等災害対策の重要性が高まっています。また既存のインフラにおいても急速に老朽化が進んでいること、また急速なグローバル化が進展しているなかで、国民の生命と財産を守り、経済の活性化を図るための、社会資本の整備・維持管理を着実に推進することが急務となっています。さらに交通網の発達や情報通信技術の進展、エネルギー情勢の変化等により人々の暮らしも多様化しているため、国土行政を進める上で国民生活に係る幅広い分野を所掌することも重要となっており、時代の要請に応えた施策を展開していくことが求められています。

私ども公共事業に携わる建設技術者は、災害に強い国土・地域づくり、入札契約制度改革と公共工事の品質確保、アセットマネジメントと公物管理の課題、工事積算における動向と工事施工における合理化、安全対策など、多くの課題に取り組みながらこれらの要請に応じていく必要があります。技術力や企画・立案、説明力、交渉力など多様な資質の一層の向上が求められています。

一般社団法人全日本建設技術協会では、主に官公庁に勤務する建設技術関係者の資質の向上を図るため、建設技術講習会及び海外研修を実施しておりますが、このたび平成26年度開催計画について、別紙のとおり決定し実施することとなりました。

本建設技術講習会では、公共事業に係る諸課題解決や実務の習得、最新技術情報の収集等、業務に直接役立つ内容となっておりますことから、公共事業に携わる官公庁職員の研修の機会として意義あるものと考えておりますので、ご理解のうえ講習会の積極的なご活用についてご検討いただきますようお願い申し上げます。

謹白

地方協会長 殿

一般社団法人 全日本建設技術協会
会長 松田 芳夫 印省略

第608回建設技術講習会（道路行政の課題、港湾・漁港行政の課題）開催について

本協会事業について、平素よりご協力にあずかり厚くお礼申し上げます。

本協会では、平成26年11月12日（水）～14日（金）、広島市において標記講習会を開催いたします。

この講習会では、道路行政、港湾・漁港行政に共通する課題として、環境の保全・景観形成、交通ネットワークの効率化等について学ぶとともに、道路については、最近の道路行政施策や道路の防災・震災対策、道路交通安全対策、道路の維持管理・更新、道路ネットワークの有効活用など、港湾・漁港については、最近の港湾・漁港行政施策や港湾施設における防災・震災対策、港湾行政における環境対策、国際競争力の強化、港湾施設の維持管理技術などについての具体の取り組み事例や最新の施策及び最新の技術情報を得るものとするを目的としています。

なお、本講習会は広島県・広島市（予定）の共催、国土交通省の後援のもと実施することとしています。

①会場及び日程：別紙日程表のとおり

②聴講料：正会員・特別会員・賛助会員 …………… 12,900円
正会員（地元）〔開催県内に勤務の正会員〕 ……… 2,000円
一般（非会員） …………… 17,900円
※昼食の斡旋はありません ※聴講のみの参加は可能です
※正会員（地元）は割引価格のためキャンセルはできません

③現場研修料：8,500円〔うち昼食代1,200円〕
※現場研修のみの参加はできません

④申込方法：申込書に必要事項を記入し、申込金〔銀行振込の（写）〕を添えて期限までにメール又は郵送にて全建事務局までお申込み下さい。
開催当日に会場でのお支払い等は受け付けできません。

⑤申込書送付先：（一社）全日本建設技術協会 事業課 Mail: kensyu@zenken.com
〒107-0052 東京都港区赤坂3-21-13 ヒューリック赤坂ビル7F
TEL：03-3585-4546 FAX：03-3586-6640

⑥振込銀行口座：三菱東京UFJ銀行 赤坂見附支店 普通 **0311142**
口座名義：シャ）ゼンニホンケンセツギジュツキョウカイ
※必ず、お振込人名義（協会名）の前に、開催回数の「608」をつけ加えて下さい。
※振込手数料はご負担願います。

⑦申込締切日：平成26年10月24日（金）必着（締切日以降に到着したものは受理できない場合があります）

※申し込みの取り消しについては下記のように処理いたします。講習会終了後に所属協会指定口座へご返金いたします。なお、振込手数料を差し引いた金額をお振込させていただきます。

①	平成26年10月31日（金）までの取り消し	聴講料、現場研修料の全額を返金
②	平成26年11月7日（金）までの取り消し	聴講料、現場研修料の半額を返金
	上記②を過ぎてからの取り消し	返金できません

※テキスト及び聴講料・現場研修料の領収書は当日受付にて、受講証は講義終了後にお渡しいたします。

※事故防止のため自家用車での参加はご遠慮願います。特に、現場研修時は一切お断りいたします。

第608回建設技術講習会(道路行政の課題、港湾・漁港行政の課題)日程

～持続可能で活力ある国土・地域づくりに向けて(道路行政、港湾・漁港行政における施策の展開と技術情報)～

―道路行政、港湾・漁港行政に共通する課題として、環境の保全・景観形成、交通ネットワークの効率化等について学ぶとともに、道路については、最近の道路行政施策や道路の防災・震災対策、道路交通安全対策、道路の維持管理・更新、道路ネットワークの有効活用など、港湾・漁港については、最近の港湾・漁港行政施策や港湾施設における防災・震災対策、港湾行政における環境対策、国際競争力の強化、港湾施設の維持管理技術などについての具体的な取り組み事例や最新の施策及び最新の技術情報を得るものとする―

会場 …… 【合同/2日】道路】アステールプラザ(2階 中ホール)
 【2日】港湾・漁港】 ” (4階 大会議室)
 〒730-0812 広島市中区加古町4-17 TEL082-244-8000(代)

(1日目)		平成26年11月12日(水)【合同】中ホール		(敬称略)
12:40 }	あいさつ	広島県副知事 広島市長 (一社)全日本建設技術協会 専務理事	高垣 広徳 松井 一實 中嶋 章雅	
13:00 }	いま社会資本に何が求められているのか	(公社)土木学会計画学研究小委員会 委員 (株)スマートインフラ総合研究所長	吉田 正	
14:10 }	国造りと社会資本	広島大学大学院社会科学研究所 マネジメント専攻 教授	戸田 常一	
15:20 }	【特別講演】 広島県のサイクルツーリズムと道路整備	(一社)尾道観光協会 専門員	見永 洋一	
16:30 }	【地域事業の紹介①】 太田川大橋建設事業について	広島市道路交通局道路部 街路課長	油野 裕和	
17:00 }	【地域事業の紹介②】 厳島港宮島口地区港湾整備事業について	広島県土木局港湾漁港整備課 主査	正田 武	
	「参加者同士の交流・講師との意見交流会」 <希望者のみ> (18:30～20:00)	広島市文化交流会館 3階「銀河」 TEL082-243-8881		
(2日目)		11月13日(木)【道路部門】中ホール		(敬称略)
9:40 }	道路行政における主要政策課題について	国土交通省道路局企画課道路経済調査室 道路計画調整官	高松 諭	
10:50 }	道路の老朽化対策の現状について	国土交通省道路局国道・防災課道路保全企画室 企画専門官	田中 倫英	
13:00 }	交通安全施策を巡る最近の動向について	国土交通省道路局環境安全課道路交通安全対策室 企画専門官	安部 勝也	
14:10 }	道路における防災対策について ～来るべき大地震・ゲリラ豪雨などの災害に備えて～	国土交通省道路局国道・防災課道路防災対策室 企画専門官	淡中 泰雄	
15:10 }	閉会のあいさつ	広島県建設技術協会長 (広島県土木局土木整備部長)	松永 悟	
(2日目)		11月13日(木)【港湾・漁港部門】大会議室		(敬称略)
9:40 }	港湾行政における主要政策課題について	国土交通省港湾局計画課企画室 課長補佐	杉田 博章	
10:50 }	港湾施設の維持管理に関する取り組み	国土交通省港湾局技術企画課 港湾保全政策室長	坂井 功	
13:00 }	港湾における減災・防災対策について	国土交通省港湾局海岸・防災課 災害対策室長	加藤 利弘	
14:10 }	漁港行政における主要政策課題について	水産庁漁港漁場整備部計画課 課長補佐	高原 裕一	
15:10 }	閉会のあいさつ	広島市建設技術協会長 (広島市道路交通局長)	向井 隆一	
(3日目)		11月14日(金)【現場研修】		(敬称略)

平和記念公園駐車場(8:30)出発

→ 東広島・呉道路整備事業(下車説明) → 昼食(呉市内) → 厳島港宮島口地区港湾整備事業(下車説明)
 → 太田川河川環境整備事業(下車説明) → JR広島駅(16:30)着後解散

※解散時刻は道路混雑等の交通事情により多少超過する場合がありますので予めご了承ください。
 ※講習会日程・現場研修は都合により、講師・講義内容・現場研修コースなどに変更が生じる場合があります。

第608回建設技術講習会 現場研修事業の概要

1 東広島・呉自動車道整備事業

東広島市高屋町～呉市阿賀中央

一般国道375号は、広島県呉市から三次市を經由して島根県大田市までを結ぶ中国地方陰陽連絡の幹線道路として、重要な役割を担ってきました。中でも、呉市から東広島市にかけての沿線は、昭和59年に広島中央テクノポリス地域に指定されて以来、地域産業の



技術高度化と先端技術開発の拠点を目指して開発が進んでいます。また同地域は広島広域都市圏の東部に位置しており、広島都市圏が中国四国地方の中核機能を担っていく上でも、その発展が期待されています。

そこで、同地域のこれからの発展に不可欠な社会基盤として、拠点都市間を迅速にネットワークする道路網の整備を目的に計画されたのが、高規格幹線道路の東広島・呉自動車道です。東広島・呉自動車道は、一般国道自動車道専用道路として、ネットワークの完成に欠かせない重要な位置を占めており、呉市・東広島市・竹原市周辺地域から山陽自動車道へのアクセス強化を目的として計画された、延長32.8km一般国道の自動車専用道路です。

2 厳島港宮島口地区港湾整備事業

廿日市市宮島口

宮島は、日本三景・世界文化遺産の島として国内外での知名度が高く、年間約400万人の観光客が訪れる瀬戸内海地域を代表する観光拠点であり、宮島口はこの玄関口として重要な港と位置づけられています。「瀬戸内海の道構想」を推進するうえでも、みなとの賑わい空間の創出による宮島口の回遊性・利便性の向上が必要です。また宮島には約2,000人の県民が生活しており、宮島航路が発着する宮島口は、住民生活にとっても不可欠な港となっています。そこで、旅客の安全と利便性の向上を図り、宮島の玄関口にふさわしい港湾を整備するため、平成22年度に港湾区域の指定を行いました。第一期港湾整備計画は平成23～32年度までとし、栈橋、ターミナル、緑地等の港湾施設の整備等を進めていきます。また、第一期環境整備として、アクセス道路整備等の渋滞対策が位置付けられており、その後も周辺地域の環境整備事業など、地区全体の整備を進めることとしています。



3 太田川河川環境整備事業

広島市中区他

太田川は広島県の西部に位置し、中上流部で柴木川、筒賀川、滝山川、水内川等の支川を集めて流下し、広島市安佐北区可部町付近で根谷川、三篠川を合流します。その後、はん濫原として形成された平地部を流れ、広島デルタの扇頂部に達して旧太田川を分流し太田川放水路となり、広島市街地の西を流れて広島湾に注いでいます。市街地面積水面の比率が全国屈指である広島市は「水の都」と呼ばれ、市内派川を中心に市街地が形成されています。また平成15年には「水の都ひろしま構想」が策定され、水の都ひろしまの実現に向けて、国・縣市だけでなく、利用者である市民や企業等が協働で取り組みを行っています。特に市内中心部の基町地区は、市民の憩いの場として親しまれ、元安川では河川敷占用の規制緩和の特例措置を活用し、平和記念公園の対岸に元安川オープンカフェとして憩いや交流の場を提供し、潤いと安らぎを感じる質の高い水辺の風景を創出しています。



第608回建設技術講習会の宿泊斡旋及び予約申込案内

宿泊斡旋：宿泊希望者には広島市内のホテルを下記のとおり斡旋いたします。

なお、宿泊代金につきましては、ホテルチェックイン時に全額お支払いください。

宿泊予約申込：別紙申込書に必要事項を記入し、全建事務局にお申し込み下さい。

問い合わせ先：西鉄旅行㈱ 首都圏営業部 東京支店 TEL:03-6742-0324 FAX:03-6742-0328

〒113-0033 東京都文京区本郷3-10-15 (JFAハウス5階)「全建担当デスク」迄
申込後の宿泊予約の取り消しや変更については、上記までご連絡下さい。

※取り消しについて

宿泊日の前日から起算してさかのぼって		当日 (宿泊開始前)	宿泊開始後及び 無連絡不泊
4日前まで	3~1日前(前日)		
無料	宿泊代金の20%	宿泊代金の80%	宿泊代金の100%

土日祝日及び営業時間外でのキャンセルの場合は、翌営業日での取り扱いとさせていただきます。
取消料に関しましては、ご本人様へご連絡の上、ご請求させていただきます。

斡旋する宿舎名、宿泊料

平成26年11月11日(火), 12日(水), 13日(木)

(1泊朝食付、サービス料・消費税含む)

宿舎名	所在地・電話番号	部屋タイプ	宿泊人数	宿泊代金
ホテルサンルート広島	広島市中区大手町3-3-1 Tel.082-249-3600	シングル	30名	9,180円

※禁煙・喫煙の希望を承ります。空室状況により消臭対応となる場合がございます。予めご了承下さい。

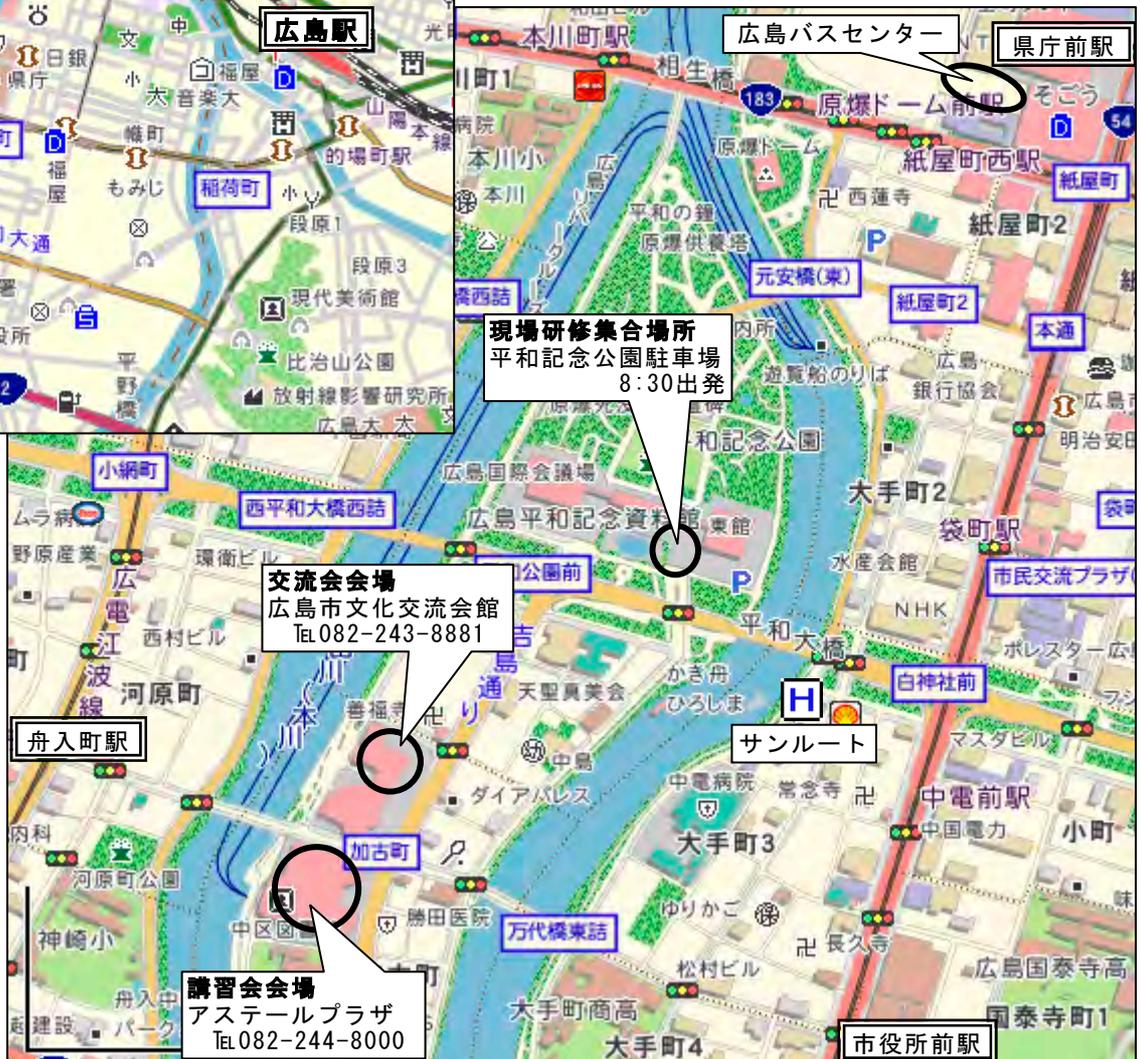
※宿舎が決定次第、西鉄旅行㈱より「宿泊案内」が送付されます。

また、朝食不要とすることもできます。詳細は「宿泊案内」をご覧ください。

広域図



会場・宿舎周辺詳細図



広島駅より会場まで

市電利用：

字品行(紙屋町経由)

一市役所前下車徒歩8分

江波行

一舟入町下車徒歩6分

バス利用：広島バス24番

吉島営業所

または吉島病院行

一加古町下車徒歩3分

広島空港より会場まで

広島バスセンターまで

バス55分 下車徒歩20分

交流会会場
広島市文化交流会館
Tel.082-243-8881

講習会会場
アステールプラザ
Tel.082-244-8000

現場研修集合場所
平和記念公園駐車場
8:30出発

第608回建設技術講習会に参加の皆様へ！

「参加者同士の交流会・講師との意見交換会」を開催します



(一社)全日本建設技術協会では、「参加者同士の交流会・講師との意見交換会」を実施しています。これは、全国から本会講習会にご参加いただく方々の交流と、講演いただく講師の方にもご参加いただき、質疑応答や交流をはかる場としています。ぜひ皆様のご参加をお待ちしています。

日時：平成26年11月12日(水) 18:30~20:00(予定)
(第608回建設技術講習会 1日目講義終了後)

場所：広島市文化交流会館 3階「銀河」
〒730-8787 広島市中区加古町3-3 TEL082-243-8881(代)

会費：2,000円(講習会受付時に徴収)

※開催時間は変更になる場合がありますので、開催当日にご案内いたします。
※参加希望の方は申込書の「交流会」欄に○印を記入して下さい。
※この交流会は会費制です。
※参加される方は必ず名刺を持参して下さい。
※立食パーティ形式でご当地グルメ等を用意しています。

(交流会に参加予定の講師)

- ・(公社)土木学会計画学研究小委員会 委員
(株)スマートインフラ総合研究所長 吉田 正 講師

※講師の都合により変更になる場合があります。

1. 講習会の参加者同士の交流促進をはかる
 - ①参加者の知見と人脈を広める(名刺交換)
 - ②意見交換・情報交換
2. 参加者と講師との交流・懇談
 - ①講師との交流
 - ②質疑応答など

※都合により内容が変更になる場合があります。



<問合せ>



(一社)全日本建設技術協会 事業課 講習会担当
TEL 03-3585-4546 MAIL kensyu@zenken.com

2会場となりますので、聴講者別の欄はお間違えのないよう記入願います。

平成26年 月 日

一般社団法人 全日本建設技術協会 殿

協会名

(特別・賛助会員名、会社名)

第608回建設技術講習会（道路行政の課題、港湾・漁港行政の課題）申込書

＜個人情報の取扱いについて＞

申込書に記載された個人情報については、参加者が円滑に講習会に参加できるよう連絡等に使用させていただくほか、宿泊機関等の手配及びそれらのサービスの受領手続きに必要な範囲内で利用させていただきます。

参加者		勤務先 (所属課名まで記入のこと)	聴講者別				現場 研修	交 流 会	宿泊予約		
(フリガナ) 氏名 <small>(女性の場合は番号に○をつけて下さい)</small>	年 齢		正会員		一般 (非会員)				予約日に○を 記入して下さい		
			道 路	港 湾 漁 港	道 路	港 湾 漁 港			11月 11日	12日	13日
1											
2											
3											
4											
5											
6											
7											
8											
9											
10											
聴講料 正会員・特別会員・賛助会員 名×12,900円＝ 円 正会員(地元) 名×2,000円＝ 円 ※正会員(地元)とは、開催県内に勤務する「正会員」(賛助会員除く) 一般(非会員) 名×17,900円＝ 円 現場研修料 名×8,500円＝ 円 計 円			↑ 現場研修 の昼食は 不要の申 し出はで きませ ん※		宿泊代金は、ホテルチェックイン時に全額お支払いください。 禁煙・喫煙の希望がある場合には、「○禁」、「○喫」のように記入してください。						

↓全建に振込

【お申込みについて】

必要事項を記入し、申込金〔銀行振込の(写)〕を添えて期限までになるべくメール又は郵送にてお申込み下さい。

【変更・取り消し・追加方法について】

電話での受付はいたしません。また、正会員(地元)は割引価格のためキャンセルはできません。

本紙に、変更・取り消し・追加箇所がわかるようにご記入いただき、「再送」と明記の上、メール又はFAXをお送り下さい。

取り消しをする際には開催案内に記載しているキャンセル料がかかります。

【聴講時の昼食について】

昼食の斡旋はありません。

【現場研修時の昼食について】

現場研修については行程の都合上、全員の昼食の用意をします。不要の申し出はできません。予めご了承下さい。